



VMware から Azure への 移行ガイド

手間なく移行し、コスト削減と運用効率化を実現

VMware から Azure への移行を検討されているお客様へ

2023年11月、VMwareがブロードコムに買収されました。

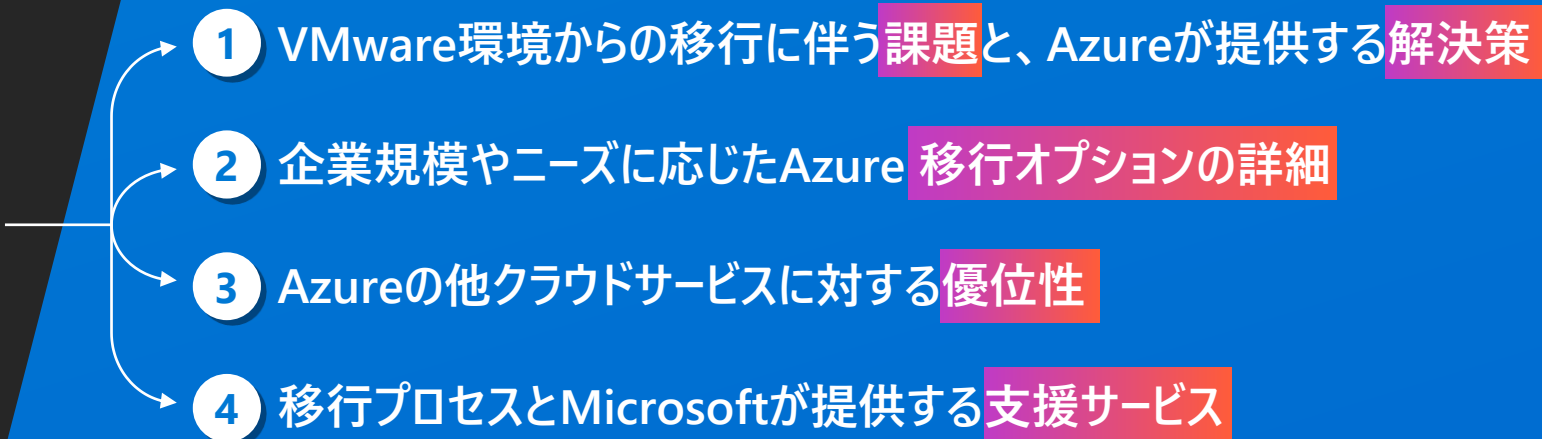
この動きにより、VMware製品のライセンス料金の大幅な値上げの影響が出ています。

多くの企業がVMwareからの移行を検討する中、

MicrosoftはAzureを通じて、よりコスト効率が高く、革新的なソリューションを提供します。

本リーフレットでは、

VMwareからAzureへの移行を
検討されているお客様に向けて、
詳しく解説します。

- 
- ① VMware環境からの移行に伴う課題と、Azureが提供する解決策
 - ② 企業規模やニーズに応じたAzure 移行オプションの詳細
 - ③ Azureの他クラウドサービスに対する優位性
 - ④ 移行プロセスとMicrosoftが提供する支援サービス

1 VMware 移行の課題と Azure の解決策

VMware環境からの移行を検討する企業は、ライセンス料金の高騰によるコスト増大や複雑な移行プロセス、既存システムとの互換性維持、セキュリティ確保など、さまざまな課題に直面しています。

これらの課題は、企業のIT基盤の効率化やDX推進の障壁となる可能性があります。

Azureは、VMwareからの移行に対して包括的な解決策を提供します。

柔軟な価格モデルによるコスト最適化や効率的な移行ツールとサポート、ハイブリッドクラウドオプション、高度なセキュリティ機能や無限のスケラビリティまで、Azureのソリューションが企業のIT基盤の最適化や効率化を強力に支援します。

VMware 利用企業が直面する課題

- ライセンス料金の高騰によるコスト増大
- 複雑なシステム移行プロセス
- 既存インフラストラクチャとの互換性維持
- セキュリティとコンプライアンスの確保
- スケラビリティと将来の成長への対応
- 既存のVMware専門知識の活用

Azure が提供する解決策

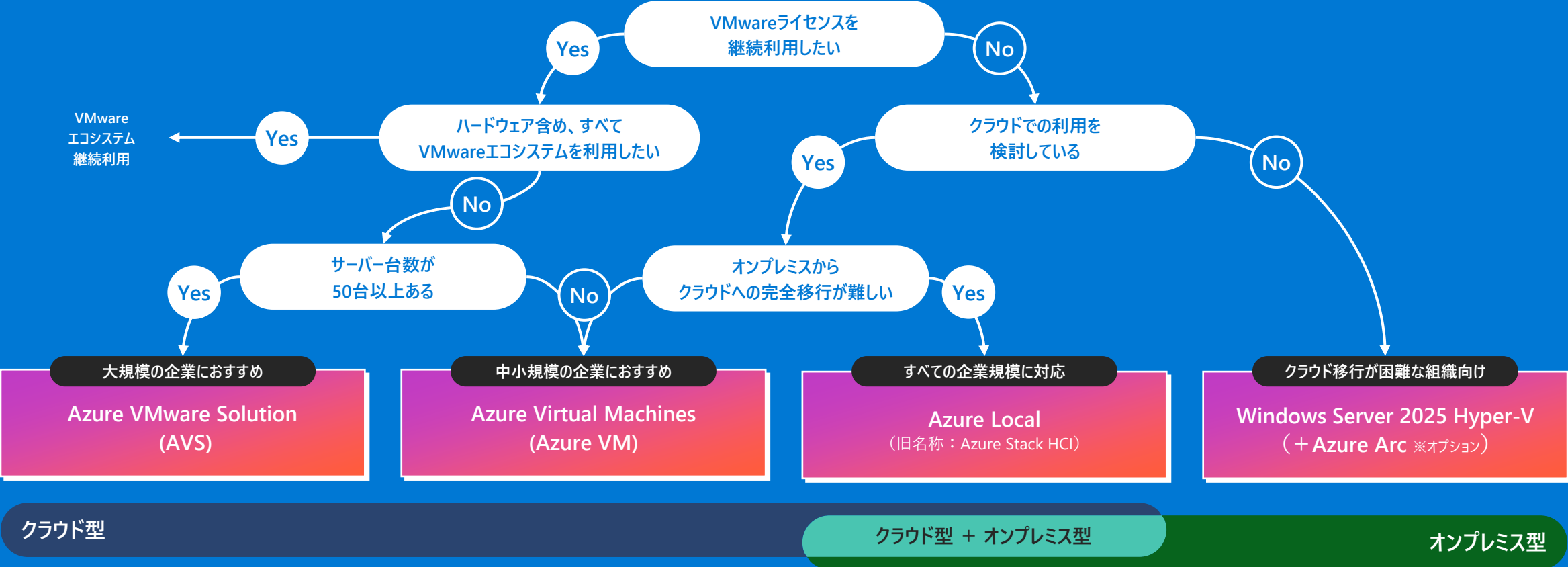
- 柔軟な価格モデルによるコスト最適化
- 包括的な移行ツールとサポート
- 広範な互換性とハイブリッドクラウドオプション
- 高度なセキュリティ機能と豊富なコンプライアンス認証
- 無制限のスケラビリティとグローバルなデータセンター網
- AIと機械学習の統合による業務効率化
- VMware専門家のスキルを活かせる移行パス

2 4つのソリューション（移行オプション）

Azureは、VMwareユーザー様に最適な移行のため、4つのオプションをご用意しています。

小規模な環境から大規模な企業システムまで、また従来のオンプレミス運用からフルクラウド活用まで、あらゆるニーズや要件に柔軟に対応できるよう設計されています。

最適なオプションの選び方は、以下のマトリクス表でご確認いただけます。



2 4つのソリューション（移行オプション）の特徴

	クラウド型	クラウド型 + オンプレミス型	オンプレミス型	
	大規模の企業におすすめ Azure VMware Solution (AVS)	中小規模の企業におすすめ Azure Virtual Machines (Azure VM)	すべての企業規模に対応 Azure Local (旧名称：Azure Stack HCI)	クラウド移行が困難な組織向け Windows Server 2025 Hyper-V (+ Azure Arc ※オプション)
特徴	VMware環境をそのまま Azureで運用	VMware環境をAzure仮想マシンに直接移行するオプション	オンプレミスとクラウドの統合環境	従来型のオンプレミス環境を維持するオプション
適した規模	大規模（サーバー50台以上）の企業に最適	中小規模（サーバー50台未満）の企業に適している	すべての企業規模に対応	クラウド移行が困難な組織向け
メリット	● 既存の運用をほぼ変更せずに移行可能 ● VMwareツールやスキルをそのまま活用可能 ● Azureネイティブサービスとの高度な統合	● コスト効率が高い ● Azureサービスとの統合が容易 ● スケーラビリティに優れている	● 段階的な移行が可能 ● オンプレミスとクラウドのリソースを統合管理	● 既存システムとの高い互換性 ● データとシステムの完全な制御 ● クライアントパソコンとセットになった提案が豊富
選択時の注意点	● 大規模なVMware環境を運用している場合に最適 ● 長期的にはAzureネイティブサービスへの移行を検討すると良い	● 一部のVMware固有機能が使用できない可能性がある ● 既存のVMware環境からの移行作業が必要 ● Azureの機能を最大限に活用したい場合に適している	● 規制要件などでオンプレミス環境の維持が必要な場合に適している ● 長期的にはフルクラウド化も視野に入れやすい	● WSUS(Windows Server Update Services)の新規開発は終了しており、将来的に廃止予定。今後はAzure Arcを活用したハイブリッド環境への移行を検討すべき ● クラウド移行が困難な規制要件がある場合のみ推奨

Azureは優れた技術基盤と包括的な支援サービスにより、VMwareからの移行を安全かつ効率的に実現します

3 Azureの優位性

Azureは、クラウド市場をリードする革新的なプラットフォームとして、他のクラウドプロバイダーを凌駕する優位性を誇ります。Microsoftの長年にわたる技術革新と企業向けソリューションの経験を結集し、Azureは包括的かつ統合されたクラウドコンピューティングのエコシステムを提供します。

- オンプレミスからクラウドまで、シームレスな移行と運用を実現
- 業界最大規模のグローバルネットワークによる高可用性
- 先進的なAIと機械学習機能の統合
- 包括的なセキュリティとコンプライアンス機能
- 豊富な移行ツールとサポート体制

4 Azureの移行支援サービス

Azureへの移行をスムーズに進めるため、Microsoftは包括的な支援サービスを提供しています。Azureのエキスパートチームが、アセスメントから計画、実行、最適化まで、お客様の移行プロセス全体をサポートします。

- Azure Migrate
- 移行プロセスのサポート
- 資金支援と教育リソース
- パートナー連携

Azure ハイブリッド 特典

Windows Server、SQL Server、RedHatなどのLinuxライセンスを、Azureで活用できる特別な割引プログラムを提供します。

- コスト削減のメリット : Windows Serverで平均36%、Linuxで最大76%のコスト削減が可能
- 移行時の特典 : 180日間、オンプレミスとAzureで同時稼働が可能で段階的な移行を実現

各種ソリューションの参考費用（移行サーバー台数5台）

前提条件

- 1台あたりのゲストOSのCPUは2コア、メモリは8GB、ディスクは256GBを想定
- ゲストOSはWindows Server 2022 Datacenterとします
- 1年契約時の料金とします
- 税抜き価格とします

クラウド型

クラウド型 + オンプレミス型

オンプレミス型

大規模の企業におすすめ

Azure VMware Solution (AVS)

初期費用

- ①Windows Server 2022
Datacenter（16コア）
¥933,560

年間費用

- ②AVS料金
AV36 3ノード（従量課金）
¥39,078,360

① + ②

1年間 = ¥40,011,920 ※1

おすすめポイント

ゲストOSの必要スペックが高く
サーバー台数50-80台など
大規模構成におすすめ

中小規模の企業におすすめ

Azure Virtual Machines (Azure VM)

初期費用

①¥0

年間費用

- ②VM料金 ×5 インスタンス
Standard_D2as_v4（従量課金）
Disk(OS)/Standard
SSD(LRS)/128GiB
Disk(Data)/Standard
SSD(LRS)/256GiB
¥1,694,496

① + ②

1年間 = ¥1,694,496 ※2

おすすめポイント

Azure ハイブリッド特典やRI を
利用することでさらに約 30-50% OFFに

すべての企業規模に対応

Azure Local (旧名称：Azure Stack HCI)

初期費用

- ①ハードウェア費用
Azure Stack HCI × 2 ノード
¥13,900,000

- ②Windows Server 2022
Datacenter
¥933,560

年間費用

- ③Azure Stack HCI ホストサービス
¥364,800

① + ② + ③

1年間 = ¥15,198,360 ※3

おすすめポイント

サーバー台数25台以上かつ
ハイブリッド型ならAzure Local がおすすめ

クラウド移行が困難な組織向け

Windows Server 2025 Hyper-V (+ Azure Arc ※オプション)

初期費用

- ①ハードウェア費用
オンプレミスサーバー
¥2,142,000

- ②Windows Server 2022
Datacenter（16コア）
¥933,560

年間費用

0円（HW 施設設備など含まず）

① + ②

1年間 = ¥3,075,560 ※4

おすすめポイント

オンプレミスの場合
Azure Arc による管理がおすすめ
(\$/サーバー/月)

注: 上記は仮の価格です。詳細な費用は利用状況や規模により異なります。お問い合わせください。

参考費用の注釈について

前提条件

- 1台あたりのゲストOSのCPUは2コア、メモリは8GB、ディスクは256GBを想定
- ゲストOSはWindows Server 2022 Datacenterとします
- 1年契約時の料金とします
- 税抜き価格とします

クラウド型

クラウド型 + オンプレミス型

オンプレミス型

大規模の企業におすすめ

Azure VMware Solution (AVS)

①+②

1年間 = ¥40,011,920 ※1

- AVSは最低3ノードからの購入となります
- AVSノード上で多数の仮想マシンを動かすことでコストメリットが向上します
- 東日本リージョンでの見積もりとしております
- 価格はこちらを参照・AVSのインスタンス別のスペックはこちらを参照
- Azureの関連サービスは含めないものとします(Log,Backup,Network)
- サーバへの接続管理者のみの接続とする為、CALは購入しないものとします

中小規模の企業におすすめ

Azure Virtual Machines (Azure VM)

①+②

1年間 = ¥1,694,496 ※2

- Azureの関連サービスは含めないものとします(Log,Backup,Network)
- コンピューティングとディスク料金のみとします
- Standard_D2as_v4(月額)/従量課金 Disk(OS)/Standard SSD(LRS)/128GiB
Disk(Data)/Standard SSD(LRS)/256GiB
- 152円換算

すべての企業規模に対応

Azure Local (旧名称 : Azure Stack HCI)

①+②+③

1年間 = ¥15,198,360 ※3

- H/Wの費用はAzure Local Solution Sizer利用を前提とします。
- Azure Local ノード上で多数の仮想マシンを動かすことでコストメリットが向上します
- 東日本リージョンでの見積もりとしております
- ハードウェアの見積もりはサーバもしくはそれに付帯するものとし、ネットワークや保守サービスは除外いたします
- Azureの関連サービスは含めないものとします(Log,Backup,Network)
- オプションで利用可能なAzureサービス料金も含まれておりません

クラウド移行が困難な組織向け

Windows Server 2025 Hyper-V (+ Azure Arc ※オプション)

①+②

1年間 = ¥3,075,560 ※4

- ハードウェアの見積もりはサーバもしくはそれに付帯するものとし、ネットワークや保守サービスは除外いたします
- Hyper-Vのフェールオーバークラスタ機能により、スタンバイノードを構成します(N+1)
- System Center Virtual Machine Manager (SCVMM)も対象外とします

注: 上記は仮の価格です。詳細な費用は利用状況や規模により異なります。お問い合わせください。

FAQ

Q	VMwareからAzureへの移行にどれくらいの期間がかかりますか？	A	一般的には数週間から数ヶ月かかります。規模や移行プロセスに依存しますが、Azureの移行ツールとサポートを活用することで効率化が可能です。
Q	既存のVMwareの設定やデータは保持されますか？	A	Azure VMware Solution (AVS)を利用することで、現在のVMware環境をそのまま移行できます。
Q	コスト削減はどの程度期待できますか？	A	Azureの柔軟な価格モデルを利用することで、最大30%～50%のコスト削減が期待されます（ケースにより異なります）。
Q	Azure移行後のサポート体制はどうなっていますか？	A	Microsoftは24時間365日の技術サポートを提供しています。また、移行後の運用最適化についても支援を行います。
Q	試験的に利用することはできますか？	A	はい、Azureには無料の試用プランが用意されています。詳細は公式サイトをご確認ください。
Q	セキュリティやコンプライアンス面の対応は？	A	Azureは業界トップクラスのセキュリティ機能を備えており、GDPRやISOなど多くのコンプライアンス基準に対応しています。



本リーフレットについてのお問い合わせ

本リーフレットに記載された情報は制作当時（2024 年 12 月）のものであり、閲覧される時点では、変更されている可能性があることをご了承ください。

本リーフレットは情報提供のみを目的としています。Microsoft は、明示的または暗示的を問わず、本書にいかなる保証も与えるものではありません。

製品に関するお問い合わせは次のインフォメーションをご利用ください。

■インターネット ホームページ <https://www.microsoft.com/ja-jp/>

■マイクロソフト カスタマー インフォメーションセンター 0120-41 -6755（9:00 ～ 17:30 土日祝日、弊社指定休業日を除く）

※電話番号のおかけ間違いにご注意ください。

* 記載されている、会社名、製品名、ロゴ等は、各社の登録商標または商標です。

* 製品の仕様は、予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

日本マイクロソフト株式会社

〒108-0075 東京都港区港南 2-16-3 品川グランドセントラルタワー